

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	理学療法総合演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員	橋村康二、その他内部 教員	実務経験と その関連資 格				
《授業科目における学習内容》						
これまでに履修した解剖学、生理学、運動学の各専門基礎科目の知識を、横断的に統合し、定着させることを目的とする。授業は、教員からの知識伝達を最小限にし、学生が主体となるグループワークやディスカッション、課題解決型学習 (Problem-Based Learning) の形式で進行する。具体的な身体運動や身近な機能障害をテーマに、「なぜそうなるのか？」を解剖学(構造)、生理学(機能)、運動学(動きの仕組み)の3つの視点から探求する。これにより、断片的だった知識を有機的に連結させ、2年次以降の専門的な学習に進むための強固な土台を築く。						
《成績評価の方法と基準》						
知識の暗記量ではなく、演習への取り組みと知識の統合・応用能力を評価する。 演習への参加度・貢献度(50%)：各回のグループワーク、ディスカッションへの積極性、準備状況などを評価する。 課題ワークシート・提出物(50%)：各テーマで課されるワークシートやレポートの内容(知識の正確さ、論理的な説明能力)を評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
これまで学習した、解剖学、生理学、運動学、各疾患学の資料を整理し効率的に復習できるようにしておく						
《履修に当たっての留意点》						
基礎的な知識や専門知識を整理し、グループディスカッションでは積極的な意見交換を行う						
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨関節系の解剖を理解し暗記できる		配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	骨関節系の解剖について復習を行う			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	骨関節系の解剖を理解し暗記できる		配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	骨関節系の解剖について復習を行う			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋の解剖を理解し暗記できる		配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	筋の解剖について復習を行う			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋の解剖を理解し暗記できる		配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	筋の解剖について復習を行う			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	神経・筋の生理学を理解し暗記できる		配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	神経・筋の解剖について復習を行う			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経・筋の生理学を理解し暗記できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	神経・筋の解剖について復習を行う		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	主要な整形外科疾患について原因、病態、症状を整理でき説明できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	主要な整形外科疾患について原因、病態、症状を復習し整理する		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	主要な整形外科疾患について原因、病態、症状を整理でき説明できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	主要な整形外科疾患について原因、病態、症状を復習し整理する		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	主要な中枢神経疾患について原因、病態、症状を整理でき説明できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	主要な中枢神経疾患について原因、病態、症状を復習し整理する		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	主要な中枢神経疾患について原因、病態、症状を整理でき説明できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	主要な中枢神経疾患について原因、病態、症状を復習し整理する		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	主要な神経筋疾患について原因、病態、症状を整理でき説明できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	主要な神経筋疾患について原因、病態、症状を復習し整理する		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	主要な神経筋疾患について原因、病態、症状を整理でき説明できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	主要な神経筋疾患について原因、病態、症状を復習し整理する		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験を実施できる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	模擬試験を実施する		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験結果を分析し、課題を明確にできる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	模擬試験を分析し課題点を考える		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬試験結果を分析し、課題を明確にできる	配布資料	過去の資料を整理しておく
		各コマにおける授業予定	模擬試験を分析し課題点を考える		